

伝統と革新を結ぶ

Union
tradition and
innovation

「 Yuki city -north-
×
Yuki tsumugi 」

結城市へ移り住み
学んだ伝統の技
結城紬の継ぎ手として
後世へ広く伝えたい



舟茂 祐子さん
(ふなも ゆうこ) 東京都出身/
野村耕織物勤務。2018年に結城市
へ移住。結城紬産地振興人材育成事
業にて研修を修了後、現在は継ぎ手
として活躍中。

竹内 京子さん
(たけうち きょうこ) 千葉県出身/
外山織物勤務。2020年に結城市へ
移住。「人生百年時代」を生き抜く
職業としての人生を考え、結城紬の
継ぎ手を目指す。



— 県外から移住、
転職して結城紬の世界へ

舟茂 前職は「ひな人形衣裳」の商品企画。伝統工芸職人と交流するうち「自分ももの作りをしたい」と思うようになり、もともと興味があった織物の産地等を調べて辿り着いたのが結城紬。手紡ぎ糸を使い、歴史の古い地機で織るという手作業の工程や、特徴のある亀甲模様などに魅力を感じましたし、一年間の研修修了後すぐに就業できる制度(※)にも後押しされ、2018年に東京から移住しました。

竹内 幼い頃から手仕事や伝統工芸に憧れていたものの、千葉のサラリーマン家庭育ちで職人になれる現実味は薄く…都内のメーカーに20年以上勤めました。転職は2019年、希望退職者募集の声を聞いて「人生百年時代」を生き抜く職業人生を改めて考え、「新しい事始めるなら今」と念発起。色々調べて結城紬の後継者育成事業を知った頃、タイミング良く銀座で実演があり、古式豊かな技の数々に「瞬で心を奪われ、転職を決意。その後、実際に結城市や研修事業先の見学など準備を進め、2020年春に移住しました。

— 憧れの職人になった今思う事
舟茂 私の場合、「二反織るのに約3か月。毎回「はじめまして、よろしくお願

します」の気持ちで織り始め、長い道のりですが、自分の手と体を使ってものを作り出す喜びがあります。糸が布に織り上がっていく光景も、糸の組合せで花・雪・風・月など様々な模様が立ち上がってくるのも楽しいです。前工程の職人さん達の仕事があって初めて機織りが出来る事に感謝しつつ、布になる最後の工程を担う緊張感を持って取り組んでいます。

竹内 結城紬の数十あると言われる製作工程は、高度に分業化されており、先人達が積み重ねてきた知恵がぎっしり。私と舟茂さんは、縁あって織りだけでなく糸つむぎや下拵え等、複数の工程を学ばせてもらっていますが、技の習得や魅力の探求には生かかってもらえないように感じます。

— 伝統の継ぎ手として目指すもの

舟茂 信頼される織り手になる事。その上で、結城紬を末永く、より多くの人に味わい、楽しんでもらえるようにしたいです。今の私があるのは、ご指導いただきながら、段階を踏んで様々な種類の反物に挑戦させてもらえたから。日々、恩返しのできる気持ちで織っています。

竹内 結城紬は「人の手だけで糸を紡ぎ布にする」という根源的な営みの、技術と地域文化を含めた産業の在り様が宝だと思いますが、重要無形文化財

の指定要件「糸つむぎ、拵くり、地機織り」以外の工程や、産地の人々の協働体制、暮らしぶり等は知られていません。外部参入者としては、この「無形」の部分にこそ大きな魅力があり、伝統文化に関心がない人にも響くものがあると思いますので、将来的には広く紹介していきたいです。

— 移住して知ったまちの魅力

舟茂 まず、結城市伝統工芸技術習得者定住支援制度に感謝しています。魅力と言ったら、蔵造りのまち並み、素敵なカフェと同じくらい、直売所にワフワフします。野菜や果物が本場に美味しくて…

竹内 そうそう！「新鮮」より「イキがいい」と言っただけでしか味わえない感じ。家庭菜園の採れたてをお裾分けで頂くことも多く、本場にありがたいです。
舟茂 この先も、筑波山や広い空が美しく見える環境の良さ、伝統的なまち並みや産業を大切に、笑顔と活気あふれるまちでいて欲しいです。

竹内 結城育ちの方には当たり前かもしれませんが、季節で変わる鳥や虫の声を聞き、シンとした夜の静けさの中でぐっすり眠れる環境はとても贅沢。また、昔ながらの個人商店が元氣な所も結城の魅力。人と人との繋がりを感ぜられるまちであり続けてほしいです。

Yuko Funamo
Born in Tokyo, Ms. Funamo moved to Yuki City in 2018. She is employed at Nomurako Weaving. Inspired by the area's unique hand-crafted textiles, she became a traditional woven silk fabric artisan.

Kyoko Takeuchi
Born in Chiba Prefectures, Ms. Takeuchi relocated to Yuki City in 2020. She works at Toyama Weaving. A full-fledged artisan, her goal is to convey weaving techniques to future generations.

※結城紬産地振興人材育成事業 結城紬研修(茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所)を経て、結城紬機織り後継者として勤務中。結城紬の製造工程全体を支えるべく、機織りのほか、糸つむぎや下拵えも積極的に学んでいる。
撮影協力：結城市伝統工芸館